

例 言

1. 本書は、埼玉県入間郡大井町の個人住宅建設などの小規模開発に伴う、記録保存のための町内遺跡発掘調査報告書である。
2. 発掘調査および整理作業は、国（1,990,000円）、県（995,000円）の補助金を受け、平成3年4月9日から平成4年3月31日まで実施した。
3. 調査組織

調査主体者	大井町教育委員会
教育長	小林茂吉
社会教育課長	吉田和子
町史・文化財係長	岩崎保夫
町史・文化財係	坪田幹男・高崎直成・鍋島直久
発掘調査担当者	坪田幹男・高崎直成・鍋島直久
4. 本書の執筆は調査担当者があたり、文末に記した。
遺構図版作成は小林登喜江、石器実測図版作成は鍋島直久、土器拓影図作成には整理作業参加者全員の協力を得た。また、本書の編集・挿図の作成については今井堯氏の絶大な援助と協力を得た。
5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏、機関により御指導、ご協力を賜った。
浅野晴樹、荒井幹夫、今井堯、内田賢司、加藤秀之、神木繁嘉、駒井和久、桜井信枝、佐藤正志、笹森健一、田代治、谷井彪、塚田政子、原口雅樹、早坂廣人、松本新八郎、松本富雄、三上七五郎、柳井章宏、柳沢健司、和田晋治（敬称略）
埼玉県教育局指導部文化財保護課、大井町大井・苗間第一土地区画整理組合、亀久保特定土地区画整理組合、大井町遺跡調査会、大井町立郷土資料館。
6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。明記して謝意を表したい。
〈発掘調査参加者〉（敬称略）
会沢泉、浅野昭夫、新井和枝、飯塚泰子、石川与一、井上晴江、内田信治、海老原サナエ、大曾根キク子、遠田つる、笠原英子、金子君子、神木光治、小林こずい、小山エミ子、佐久間ひろ子、佐藤至一、佐藤智子、鈴木英子、鈴木エミ子、鈴木健蔵、関田成美、高木千恵子、戸澤竹二、中嶋末子、並木宗次、野岡由紀子、野沢松代、林きぬ子、比嘉洋子、細谷清作、山内栄美子、山下一枝、若尾久美子、若林紀美代。
〈整理作業参加者〉（敬称略）
石垣ゆき子、須藤さち子、柚木嘉図子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、中野和子。

凡 例

1. 本書の図版の縮尺は、住居・土坑 $\frac{1}{60}$ ・炉 $\frac{1}{30}$ ・石器実測図 $\frac{1}{4}$ ・土器拓影図 $\frac{1}{3}$ とした。
2. 遺構図中の細数字は、床面もしくは確認面からの深さ(cm)を示す。
3. 胎土粒子に関する各項の基準は次のように定めた。
小礫；2.0mm以上、粗砂；0.2～2mm、細砂0.2mm以下。
4. 土器図の断面図の表図は、「網目」が繊維含有、「黒丸」が雲母末を含有する縄文土器を表している。

I 経 緯

○ 調査に至る経緯

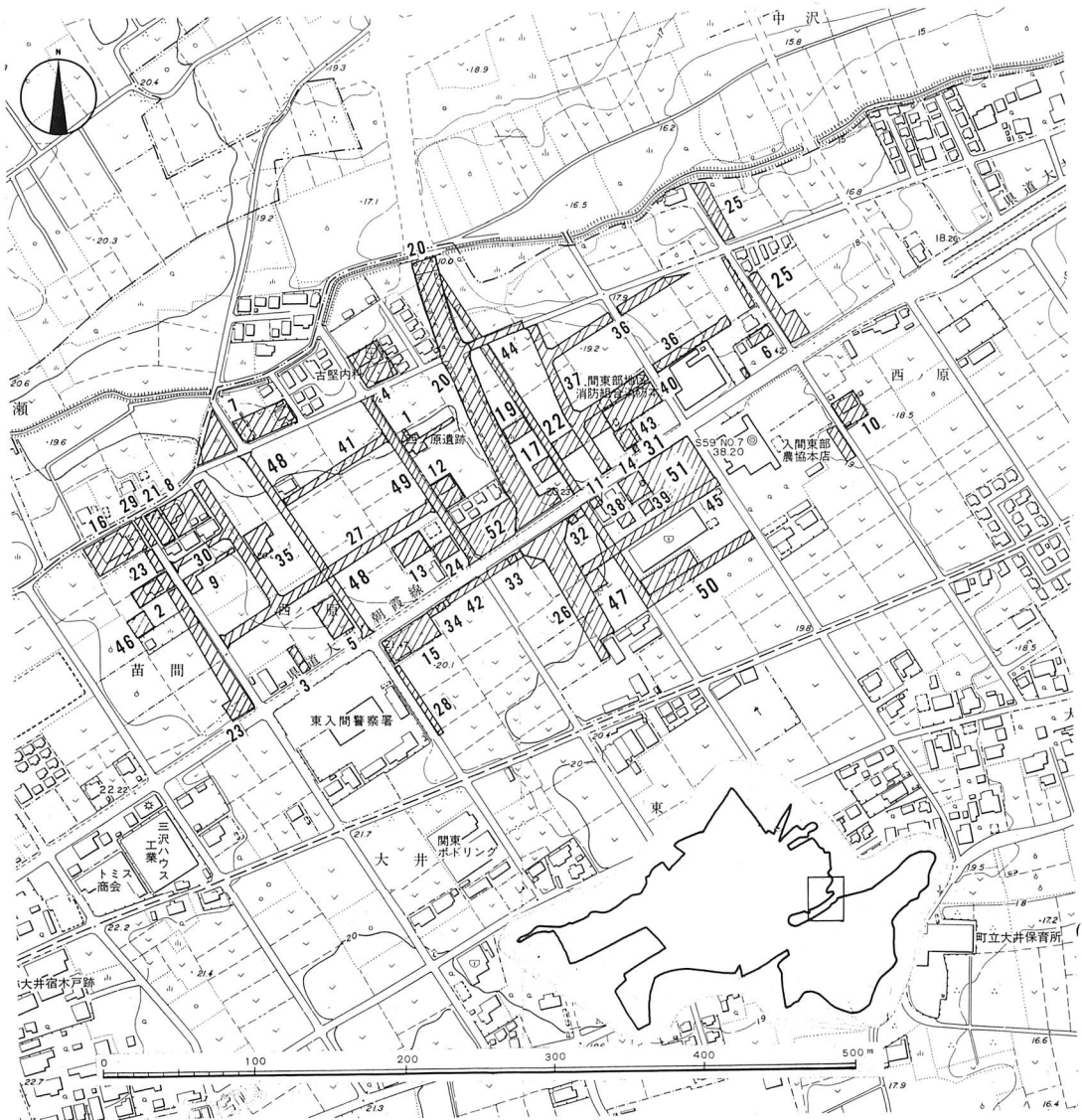
埼玉県大井町は、首都圏30km圏内の県西南部に位置する。かつては畑作を中心とする純農村地帯であったが、昭和40～50年代にかけて人口で約22,000人、6,000戸が急増した。面積8km²で現在の人口は39,000人を超えている。昭和60年代以降は、大規模な土地区画整理事業が進められ、町内遺跡の約80%近くがその区域内に位置しているため、土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査が町遺跡調査会により通年実施されてきている。町では、国庫補助を受けて「東部遺跡群発掘調査事業」（昭和53年～平成元年）「町内遺跡(群)発掘調査事業」（平成2年～）として民間の小規模開発に対処するため、埋蔵文化財の調査を実施してきた。遺跡の調査は、庁内関係各課と連絡調整をして行ってきた。農業委員会事務局から農地転用許可申請段階、また、建設課から開発事前協議・建築確認等の申請段階でそれぞれチェックされ、教育委員会は遺跡地図と照合のうえ現地踏査を実施し、遺跡の状況を確認したうえ、遺跡に影響をおよぼすとみなされる工事主体者に連絡し、協議を行った。その結果、教育委員会が記録保存のための発掘調査を工事主体者から依頼され、教育委員会が発掘調査主体者となって調査を実施することになったものである。平成3年度の調査は、下記の21箇所であった。民間及び公共事業に伴う埋蔵文化財の試掘調査についても、国庫補助事業として対応した。（坪田幹男）

NO	遺 跡 地 点 名	所 在 地	開発面積	調 査 原 因	調 査 期 間
1	西ノ原遺跡第46地点	大井町苗間83-2	199m ²	個人住宅建設	2, 4, 9～4, 10
2	亀居遺跡第27地点	" 亀久保995-2	249m ²	"	5, 7, ～5, 20
3	本村遺跡第20地点	" 大井253-1	1,150m ²	"	5, 21～6, 14
4	東台遺跡第19地点（試掘調査）	" 大井621	4,489m ²	特別養護老人ホーム建設	5, 31～6, 7
5	大井氏館跡遺跡第5地点（"）	" 大井	2,220m ²	営業所建設	6, 11～6, 17
6	鶴ヶ岡遺跡第1地点（"）	" 鶴ヶ岡3-3-1, 21	5,71m ²	体験学習園整備	6, 26～7, 17
7	西ノ原遺跡第47地点	" 苗間136-2	141m ²	個人住宅建設	7, 15～7, 26
8	亀居遺跡第30地点	" 亀久保1007-3, 1008-3	116m ²	"	7, 22～7, 23
9	西台遺跡第1地点（試掘調査）	" 大井894-2	1600m ²	資材置場	7, 24～7, 25
10	本村遺跡第22地点	" 大井108, 109	110m ²	個人住宅建設	7, 15～7, 31
11	浄禅寺遺跡第5地点（試掘調査）	" 苗間374-9	100m ²	"	8, 28～9, 3
12	本村遺跡第23地点（"）	" 大井169	268m ²	"	8, 29～8, 30
13	浄禅寺遺跡第6地点（"）	" 苗間358-1	826m ²	"	9, 21～9, 24, 12, 3・26
14	亀居遺跡第31地点	" 亀久保995-2, 7	197m ²	"	9, 26・30
15	大井清水弁財天遺跡（試掘調査）	" 大井267・263	42m ²		11, 11～11, 14
16	亀居遺跡第32地点	" 亀久保1008-1	115m ²	個人住宅建設	12, 3～9
17	亀居遺跡第33地点	" 亀久保1011-7	998m ²	"	12, 10～12, 26, 3, 2, 10～2, 1
18	亀居遺跡第34地点（試掘調査）	" 亀久保995-2	634m ²	"	3, 2, 13
19	西ノ原遺跡第51地点（"）	" 苗間153-2	1,190m ²	モデルルーム建設	2, 4, ～2, 12
20	西ノ原遺跡第52地点（"）	" 苗間122	984m ²	ガソリンスタンド建設	2, 10～2, 20
21	鶴ヶ岡遺跡第3地点（"）	" 鶴ヶ岡1-110-5	646m ²	資材置場	3, 25

IV 西ノ原遺跡

IV-1 遺跡の立地と環境

西ノ原遺跡は、富士見市境を東流するさかい川をのぞむ低位台地縁辺部に立地する。さかい川河床との比高差は、僅か約2mであり、標高は18~21mで、東に向けて高さを減じている。さかい川をはさんだ対岸にあたる北東方向には、富士見市中沢遺跡があり、加曽利EⅠ~EⅡに限られた16軒の竪穴住居が確認され、真間期の住居跡2軒も検出されている。また、発掘調査によるものではないが、本遺跡と対岸の位置にあるオトウカ山東側の畑地から、カマドを有



第20図 西ノ原遺跡の地形と調査区 (1/5000)

する住居跡(注1)が採土工事の際に発見されている。

本遺跡は、東西400m、南北250mの範囲を有し、ここ数年は大規模な土地区画整理事業により、通年の発掘調査が実施され、1992年3月末時点で調査は53次に及び、確認された縄文時代の住居跡数は83軒にのぼる。町内の遺跡群中、もっとも調査率の高い遺跡で、これまでの調査から、縄文時代中期の環状集落がメガネ状に存在していることが判明し、その西半部は勝坂期、東半部は加曽利期の住居跡群が配置されるという事実が明らかになってきた。遺物は、早期前半の井草式から後期の堀之内Ⅱ式までがあり、遺構は早期の炉穴、落とし穴から後期の土坑までが検出されている。

Ⅳ－2 西ノ原遺跡第46地点

(1) 調査の概要

1991年4月9日、個人住宅建設に伴い埋蔵文化財事前協議書が町教育委員会に提出された。現地を確認したところ、第2地点で阿玉台期の住居跡が確認された地点の50m西側に位置し、包蔵地内に入っているため、地権者と協議の結果、記録保存のための調査を国庫補助事業として実施した。調査は、幅2mのトレンチを南北に3本いれ、人力で表土を除去し、遺構確認を行なった。その結果、東西方向に溝状の遺構のプランを確認できたため、遺構の延長方向を調査区域内できわめるため、表土全面の除去をおこなった。土層観察用のベルトを残して掘り始めたが、当初、溝状遺構と思われたが、掘り込みも浅く、底面は凹凸がはげしく、耕作の際の畝跡であることが判明。専ら、「マンガ」と呼ばれる畝で、ほぼ東西に畝をいれたものである。畝と同一層(黒色土)を覆土にもつピット4本が集中して中央部で確認された。

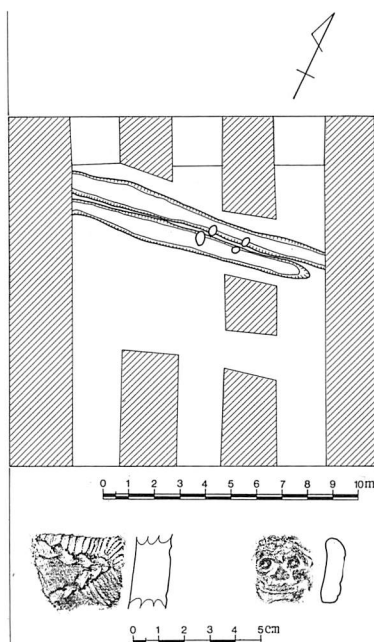
調査区の一部に縄文期特有の暗褐色の土を確認したがシミ状のもので掘り込みを持つまでには至らなかった。また第2地点ではナイフ形石器等数点の旧石器時代の遺物が確認されたため、調査用のグリッドを3ヵ所あけたが遺物はなく、4月10日に機材を片付けて調査を終了した。

(2) 遺物

1は、勝坂期の土器片で、キャタピラ文を施文する。2は泥メンチ。

(注1) 富士見市教育委員会 加藤秀之氏の教示による。

(坪田幹男)



第21図 西ノ原遺跡第46地点試掘図 ($\frac{1}{300}$)
・出土遺物 ($\frac{1}{3}$)

第46地点

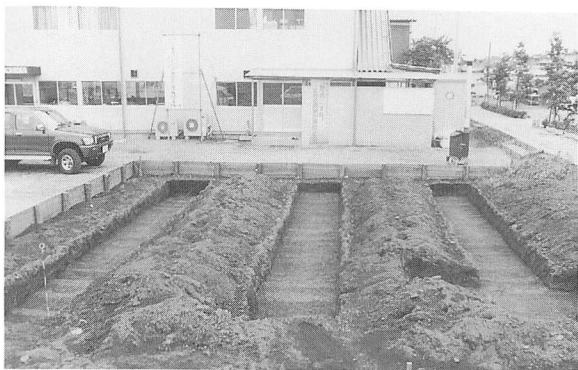


調査前全景



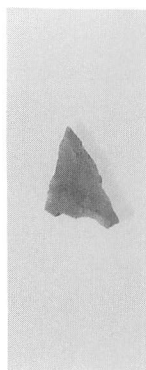
溝状遺構

第47地点



調査区全景

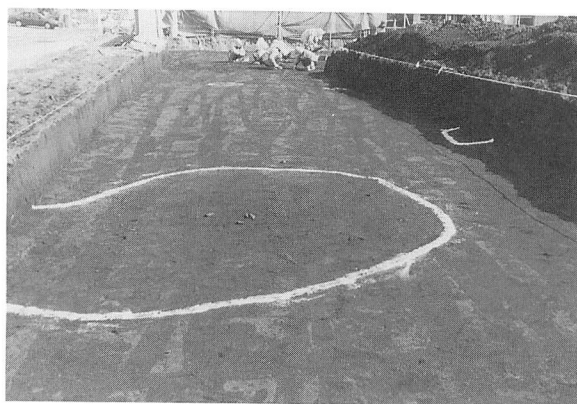
西ノ原47地点
出土石礫



第51地点



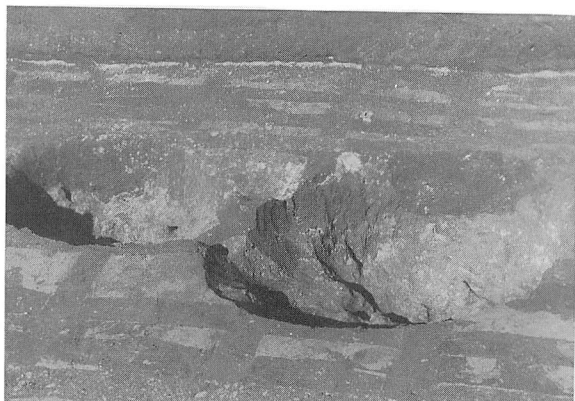
トレンチ 表土除去風景



1号トレンチ 住居プラン



掘立柱跡



土 坑